



## 第5回還元施設建設協議会の開催 還元施設基本設計案できあがる!!

平成17年4月28日第5回還元施設建設協議会が開催されました。  
今回は還元施設基本設計案についての協議が行われ各委員より活発な意見が出されました。  
今後意見の整理を行い、基本設計を取りまとめ実施設計に入っておりますので、次回の広報において還元施設の詳しい内容をお知らせできると思います。

## 愛称を募集します!

那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合では、新ごみ処理施設、還元施設、新最終処分場について、イメージをアピールして親しまれる施設とするために、それぞれの施設の愛称を募集します。



### 新ごみ処理施設（建設中、平成18年供用開始）

**規模** 処理能力1日450t (150t×3炉) **建設場所** 南風原町新川  
**特徴** ごみを燃やした時の煙をきれいにする設備や、ごみが燃えた後の灰を溶かして砂状に固める設備、不燃ごみや粗大ごみを砕いて金属類をえり分け取り出す設備、また、ごみが燃える時の熱を利用して発電を行う設備を持ったリサイクル型の環境にやさしい施設です。



### 還元施設（計画中、平成18年度内供用開始予定）

**規模** 敷地面積 約20,000m<sup>2</sup> **建設場所** 南風原町新川  
**特徴** 古都首里弁ヶ嶽の南側、緑豊かな自然の残るなだらかな丘陵地に、新ごみ処理施設の発電を利用した体育館、温浴室、トレーニング室、環境学習室、屋外多目的広場等を備え周辺自然環境に配慮した、子供からお年寄りまで楽しく利用できる開放的で地域に根差した施設です。

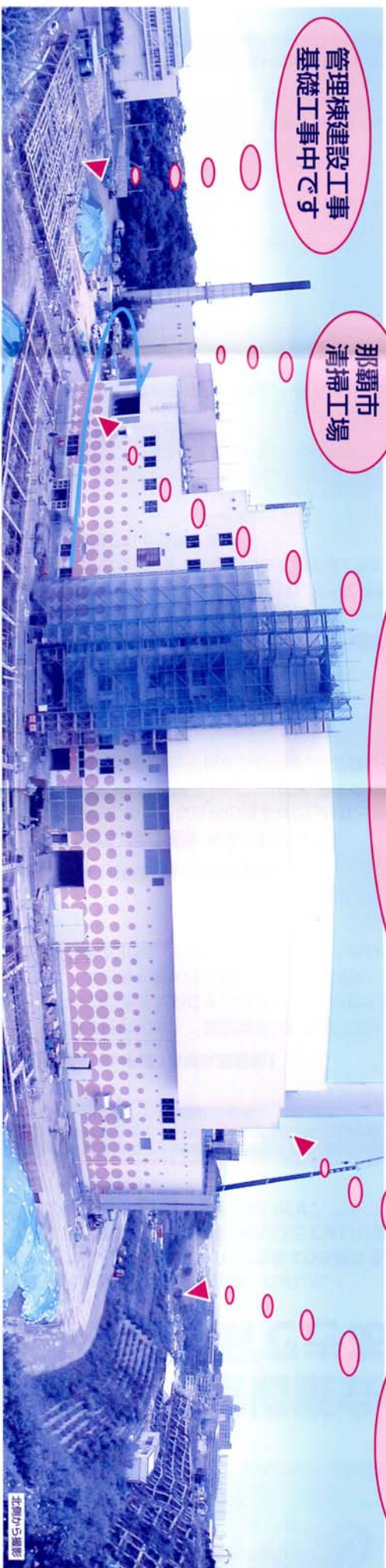


### 新最終処分場（建設中、平成19年供用開始）

**規模** 敷地面積 約27,000m<sup>2</sup>、埋立容量 約107,000m<sup>3</sup> **建設場所** 那覇市港町(海上)  
**特徴** 新ごみ処理施設において、無臭・無害化されて小石状になった物を埋め立てます。外海とは全面二重の遮水シートによって仕切られ、さらに高度な水処理施設を備えているので、環境にやさしく安全な施設となっています。また、埋立後は港湾貨物車用の駐車場として利用される予定です。

<b>1 募集期間</b>	平成17年6月1日(水)～6月23日(木)(当日消印有効)	<b>4 決定</b>	当組合にて厳正な審査により選定及び決定し、結果について入選者に直接連絡するとともに、組合ホームページ等にて公表します。(8月頃)
<b>2 応募資格</b>	どなたでも応募できます。	<b>5 賞金</b>	①最優秀賞(各施設ごとに1点):賞金2万円 *同名多数の場合は抽選で決定 ②優秀賞(各施設ごとに2点):賞金5千円
<b>3 応募方法</b>	(1)応募手段 専用応募用紙、官製はがき、FAX、組合ホームページからのアクセス。専用応募用紙の場合は、当組合・那覇市役所1階ロビー、南風原町役場1階ロビーに備え付けの応募箱に投函して下さい。  ※ 那覇市(鳥堀自治会、県営鳥堀市街地住宅自治会、城東団地自治会)南風原町(宮城区、大名区、新川区、東新川自治会)については、各自治会公民館に応募用紙と応募箱を置いてあります。 (注)城東団地自治会と東新川は自治会長宅  (2)応募点数 1施設につき3点まで。1枚の用紙には1つの応募作品を記入して下さい。(対象施設は3つあるので、それぞれ3点で最大9点まで応募可能ですが、用紙は9枚になります。)  (3)記入事項 ①応募する施設(新ごみ処理施設、還元施設、新最終処分場から選択) ②愛称(よみかた) ③愛称の説明(100文字以内) ④氏名(ふりがな) ⑤住所 ⑥連絡先電話番号	<b>6 名称との関係</b>	採用作品は正式名称としても使用する予定です。
		<b>7 応募先</b>	〒900-0025 那覇市壺川3-2-6 那覇市・南風原町ごみ処理施設事務組合 TEL:098-833-6673 FAX:098-833-6675 組合ホームページ http://www.n-h-gomi.or.jp/
		<b>8 注意事項</b>	(1)応募作品は自作かつ未発表のものに限ります。 (2)応募作品の返却は致しません。 (3)採用作品は必要に応じて補作、修正を行う場合があります。 (4)採用作品に関する一切の権利は、当組合に帰属するものとします。 (5)採用作品が他人の権利等に抵触している場合は、採用発表後であっても正式名称にならないこともあります。

# 新ごみ処理施設(工場棟)建設工事 平成17年5月の工事状況写真です。



管理棟建設工事  
基礎工事中です

那覇市  
清掃工場

北側ランウェイです(昇口)  
基礎工事中です。

煙突です。  
塗装完了しました。

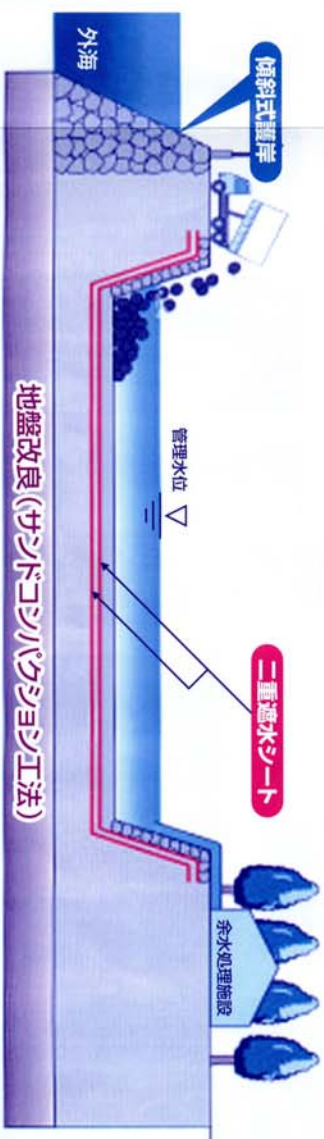
搬入道路です。

平成17年5月16日現在

## 新最終処分場の護岸工事進捗状況



サンボコンバショヨ船



説明1

### サンボコンバショヨ船

強固な砂の柱状の基礎を作り、海底の基礎地盤改良工事をする作業船

説明2

### 遮水工工事

処分場内の水が外部に漏れないように遮水シートを二重に敷く工事です。

平成16年10月に着手した新最終処分場工事は、基礎床掘工事の竣工後、地盤改良工事、護岸工事の施工を行っています。

平成17年度の工事は、引き続き遮水工工事等を予定しており、来年3月には、傾斜式による護岸で囲まれた新最終処分場全体のかたちが見られることでしょう。

### 編集後記

新ごみ処理施設は、塗装が進むにつれだいぶきれいになってきました。煙突も青色に塗装され天気の良い日には、青空に溶け込んであまり高さを感じなくなつたように思います。

※この紙は再生紙100%を使用しております。